

◆ 令和2年度事業報告書 ◆

◇◆ 目次 ◆◇

事業目的	
1. 円滑な事業運営に向けて	1
1) 要介護度別の利用者数	
2) 地区別利用状況	
3) 月別利用状況	
2. 職員の資質向上業務効率の向上について	3
3. 利用者に関して	3
4. デイサービス会議について	3
5. 研修の参加状況について	3
6. 令和2年度行事について	4
7. 苦情処理について	4
8. 事故について	4
9. 令和2年度の取り組みと成果	5
10. 介護報酬について	5

社会福祉法人 はばたきの里
第三いこいの園 デイサービスセンター
〒733-0815 広島市西区己斐上六丁目 939-1
TEL (082) 275-0066
FAX (082) 275-0093

第三いこいの園 デイサービスセンター

目的・方針

利用者が要介護状態又は要支援状態になった場合においても、その利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持を計ることを目的とする。

1. 円滑な事業運営に向けて

- ・ 事業実施に向けて、第三いこいの園デイサービスセンターが、地域に根ざしたサービスを展開出来る様、地域福祉の向上を目的とした。
- ・ 介護支援専門員に対して、事業所の特色は入浴（畑温泉）、レクリエーションなど1日型として総合的に支援が出来ることを広報し、新規利用者の紹介に繋げた。
- ・ 利用希望者には、事前の訪問調査を行い、事業所の説明を十分に行った上で通所介護体験（無料）利用につなげた。
- ・ 令和2年4月より一般型のスケジュールを一部変更し、リハビリ機器の充実を図り、よりよい環境づくりに努めた。

1) 要介護度別の利用者数（令和3年3月末現在）

	事業対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	R2年度	R元年度
通所介護 1日型 デイサービス	2	10	1	20	9	10	0	1	53	52

2) 地区別利用状況（令和3年3月末現在）

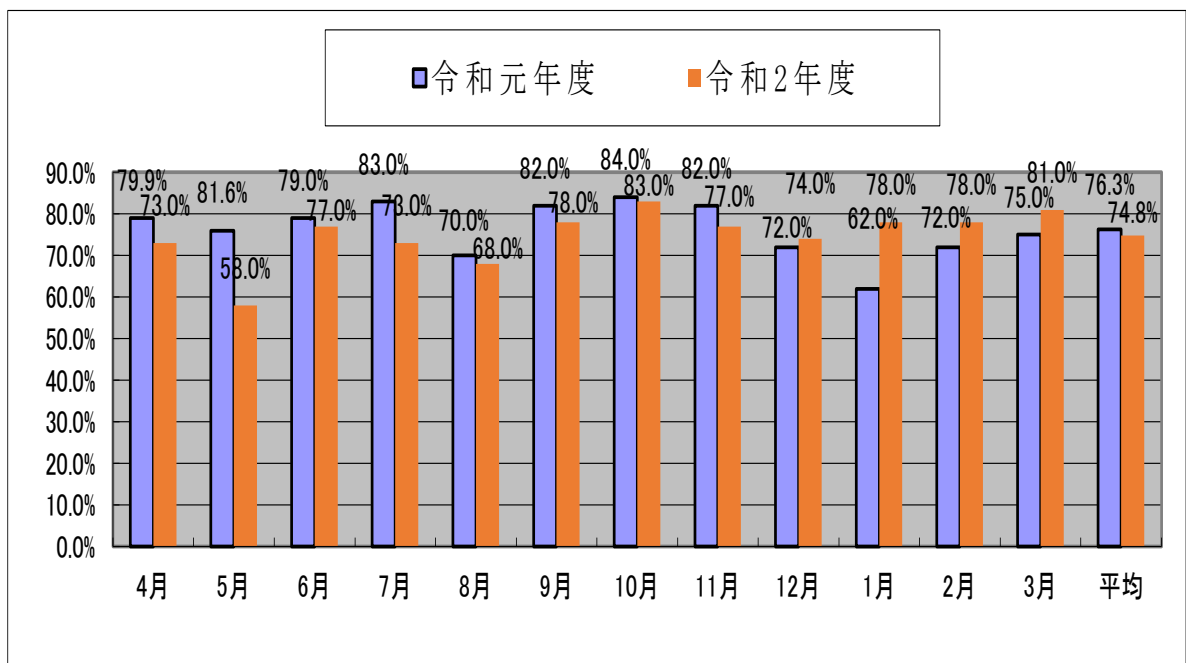
己斐地域の方が約9割を占めており、その他では庚午地域からの利用がある。

3) 月別利用状況

令和2年度目標 利用率 通所介護 80%

目標の利用率 80%には届かなかった。職員の確保が出来ず、土曜日利用が再開できていないこと、新型コロナウイルス感染症により、利用を自粛される方や緊急事態宣言が発令され、サービス提供時間を短縮したことが影響している。体調不良で休まれる場合についても、検査の有無や症状が消失するまでの期間を休んでいただくなど、従来よりも長い期間お休みいただかなくてはならない事例も多くあった。また、感染症が心配であるとの理由から新規利用に至らなかったケースもあった。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和元年度 通所介護	実施日数	26	27	25	27	26	21	23	21	21	21	20	22	280
	利用率(総合)	11.0%	12.0%	13.0%	11.0%	9.0%	12.0%	8.0%	10.0%	10.0%	11.0%	13.0%	14.0%	11.2%
	利用率(介護)	68.0%	64.0%	66.0%	72.0%	61.0%	70.0%	76.0%	72.0%	62.0%	51.0%	59.0%	61.0%	65.2%
	利用率(合計)	79.0%	76.0%	79.0%	83.0%	70.0%	82.0%	84.0%	82.0%	72.0%	62.0%	72.0%	75.0%	76.3%
	延利用日数(総合)	71	84	80	73	65	56	52	56	57	61	68	76	799
	延利用日数(介護)	436	425	410	469	399	383	432	373	320	262	288	335	4532
	延利用日数(合計)	507	509	490	542	464	439	484	429	377	323	356	411	5331
令和2年度 通所介護	実施日数	21	22	22	22	21	22	22	21	22	20	20	23	258
	利用率(総合)	11.0%	7.0%	12.0%	12.0%	9.0%	12.0%	14.0%	11.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.7%
	利用率(介護)	62.0%	51.0%	65.0%	61.0%	59.0%	66.0%	69.0%	66.0%	64.0%	68.0%	68.0%	71.0%	64.2%
	利用率(合計)	73.0%	58.0%	77.0%	73.0%	68.0%	78.0%	83.0%	77.0%	74.0%	78.0%	78.0%	81.0%	74.8%
	延利用日数(総合)	65	34	64	68	54	68	69	66	54	49	48	53	692
	延利用日数(介護)	333	271	356	335	306	360	371	336	352	352	339	408	4119
	延利用日数(合計)	398	305	420	403	360	428	440	402	406	401	387	461	4811



2. 職員の資質向上業務効率の向上について

- ・ 定期的（月1回）に通所介護担当職員の会議を行い、月間目標の反省や新たに取り組むべき課題について話し合い、職員の資質向上及び業務効率の向上に努めた。
- ・ 利用者の状態に合ったサービス提供を目指し、居宅サービス計画を基に、個別に通所介護計画の内容を検討し、統一した介護サービスの提供に努めた。
- ・ 感染予防策として来園時のうがい・手洗い・消毒、昼食後の口腔ケア、トイレ後の手消毒、換気、エアコンの温度調整の徹底を継続し、手すり・椅子・トイレの便座等1日2回の消毒を実施した。
- ・ 標準感染予防策に加え、新型コロナウイルス感染症対策として、送迎時の換気、乗車時の手消毒、利用者間の席の間隔を広くとることなどを行い、職員については不要不急の外出を自粛し、感染予防に努めた。
- ・ 申し送りを充実させる事で、利用者の状態把握・連絡事項を職員間で徹底し、ケアプランに反映させた。

3. 利用者に関して

- ・ レクリエーション日誌を参照し、ねらいを明確に取り組むことや前回の反省を活かしたよりよいレクリエーションの提供を目指した。
- ・ 利用者が制作した制作物をデイサービスのフロアーに飾り、作品紹介を行った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、全利用者に利用前の体温の計測、マスクの着用、風邪症状がある場合はお休みいただくよう呼びかけ、感染予防に努めた。また、レクリエーションにおいては、カラオケや大声を出すものなどは控え、様々な場面で3密にならない工夫をしながらサービス提供を行った。

4. デイサービス会議について

毎月目標を掲げて日々の業務に取り組み、その成果と反省について会議にて取りまとめた。個別処遇や報告事項などの周知を図る場としても会議を有効活用できるよう務めた。

5. 研修の参加状況について

令和2年度 外部研修への参加状況

月 日	参加職種	研修名	月 日	参加職種	研修名
R2.9.24	生活相談員	認知症サポーター養成講座（講師として参加）	R2.10.27	管理者	安全運転管理者法定講習
R3.2.2	管理者	高齢者施設におけるリスクマネジメント研修	R3.3.8	管理者	職場におけるパワーハラスメント研修（オンライン）

R3.3.7	管理者	介護報酬改定に関する研修（オンライン）	R3.3.9	管理者	広島市集団指導研修（オンライン）
R3.3.25	管理者	ACP への取り組み（オンライン）			

令和2年度 内部研修実施状況

月 日	参加職種	研修名	月 日	参加職種	研修名
R2.9.22	正職員	認知症について	R3.2.24	正職員	介護事故・訴訟等に関するリスクマネジメント
R3.3.19	正職員	高齢者虐待防止研修			

6. 令和2年度行事について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ご家族の見学やボランティアの受け入れを中止した。感染症対策を講じながらの行事を開催し、コロナ禍において少しでも楽しく気分転換が出来る様に、行事を計画し、実行した。

令和2年度体験利用実施状況

B型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体験利用者	0	1	2	2	3	1	2	2	0	0	0	3	16
体験後の利用者	0	0	1	1	4	1	2	2	0	0	0	1	12

7. 苦情処理

苦情内容4件。

利用者との会話の中で小さな苦情・要望等がある場合についても、サービスの改善へとつなげていくように、その都度、申し送り等で対応策を検討し、職員全体で周知していくよう努めた。

8. 事故について

事故内容としては、介助方法の見直しやリスクマネジメントを行い、未然に事故を防ぐことができるよう安全確保の徹底を心掛け、取り組んだ。

事故及び利用者の状態に変化があった時は、相談員・介護士・看護師が連携し、家族に状況を報告するとともに医療機関・居宅介護支援事業所に連絡し、連携を図るよう徹底した。事故が発生した場合及び回避された場合を含め、事故報告書を作成するとともに、申し送り、会議にて事故原因の究明、再発を防ぐ為の対策を検討した。

事故発生件数… 6 件（広島市報告 1 件）

月	件数	状況	対応	家族 報告	広島市 報告
11	1	個別機能訓練終了後に腰痛の訴えがあり、翌日病院受診すると圧迫骨折と診断される。	本人、ご家族に状況を説明し、謝罪する。機能訓練が直接影響したかどうかについては不明であるが、通院については事業所が送迎を行うこととした。	有	有

9. 令和2年度の取り組みと成果

新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言が発令された為、令和2年4月20日から5月31日まで感染予防の観点から、サービス提供終了時間を14時00分までに短縮して対応した。ご希望の方については、従来通りの16時30分までのサービス提供を行い、柔軟に対応できるよう実施し、大幅な減収となったが年間を通じて職員、利用者ともに感染者はなし。（令和3年5月末時点）

外部研修への参加が中止や延期となり、オンライン環境の整備を進めながら研修機会を設け、徐々に参加できるようになった。

利用者には様々な感染予防策に理解と協力をいただきながら、他者との交流が続き、コロナ禍においても楽しく過ごしていただけるよう努めた。

10. 介護報酬

通所介護	令和2年度	介護報酬合計	44,117,812円
	令和元年度	介護報酬合計	46,775,424円